



宗岡二中だより 5月号



平成30年5月1日（火）

志木市下宗岡 4-1-10 TEL048-472-1516

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒

道具の上手な使い方

校長 滝沢 慎

私には、三人子供がいます。それぞれが高校生以上になってから、スマホを親として貸しています。使い方は、三人三様です。長女は、必要な時だけ、活用します。長男と次男は、四六時中何か、音が聞こえます。スマホを見ない日はないようです。

そんな時、「道具に使われてしまっている」と私は、思ってしまう。

携帯電話からスマホへ、携帯端末の可能性と危険性は無限大です。IT機器なしでは考えられない現代社会、「上手」に「正しく」使うことが大切なのではないのでしょうか？

近頃、携帯電話やスマホ、インターネットをめぐる様々な問題が懸念されています。

埼玉県学校保健会が平成29年に調査した結果では、小学生84%、中学生91%、高校生98%が「ふだんインターネットを利用する」と回答しており、「スマートホンの所有率」は小学生20%、中学生61%、高校生96%であり、中学生から高校生にかけて急増していることが分かりました。

携帯電話やスマホ、インターネットは魅力的すぎて、大人でも依存傾向が懸念される中、いまだ自制心が育っていない児童生徒にとっては、止めどもなくのめり込んでしまう危険性があることを、学校も家庭も再度認識する必要があると思います。

昨年度の調査では、本校の生徒も1日当たりの使用時間（携帯電話、スマホでゲームをする時間を除く）が3時間以上の生徒が、約19.5%いました。

県の調査からは、利用時間の長さという問題は、「いじめ」や「心の調整の問題」をはじめ多くの危険性と隣り合わせであることも分かりました。

しかし、悪いことばかりではありません。県の調査では、「毎日の生活が楽しくなった」と回

答した児童生徒は小学生46.5%、中学生49.8%、高校生43.3%おり、インターネット利用による、楽しみ、友達の増加、家族の交流の深まりを感じている児童生徒も多くいることから、必ずしもスマホやインターネットだけが悪者ではないと考えています。

どのような物もそうでしょうが、特に、スマホやインターネットは使い方やルールなどを各御家庭で話し合い、「上手に付き合う」こと、「大人（親）のもとで正しく使う」ことが大切です。

私が気になったのは、多くの御家庭で使い方のルールは決めているものの「家族で決めたルールを守っているか」の問いに対して、「守っている」と答えた児童生徒が小学生84%、中学生、高校生は83.3%にとどまっていたことです。家庭でのルールづくりと、その後の見守りが不十分であることを感じました。

我が家では、スマホは親が貸している物だから、使い方がよくないと返してもらおう、としています。正直なところ、指導に苦しんでもいます。しかし、この文章を書きながら改めて、子供たちと話し合おうと思います。

学校でも、「危険性と正しい使い方」の指導を今後も続けていきますので、各御家庭でも、お子様とよく話し合い、正しい使い方にご理解・御協力をお願いいたします。

自転車保険の加入義務化についてのお知らせ

4月1日から、自転車事故を起こした際の被害者救済や、加害者の経済的負担の軽減を図るため、県内で自転車を利用する場合に、自転車損害保険等への加入が義務となっています。未成年者が自転車を利用する場合は保護者等が加入することとなります。

